

ねんきん定期便を見よう ①

老後2000万円問題と言われて久しいですが、昨今のインフレの影響でどうやら65歳以降不足する金額は3000万円とも4000万円とも言われています。ご存じでしたか？

ちなみにインフレは物価が上がっていくという意味だけではなく、「お金の価値が減っていく」のでしたね。

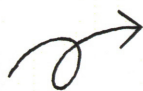
今回は、実際にあなたの老後資金が不足するのかわからないのか、不足するとしたらいくら必要なのかということが分かって安心してもらえる方法を数回に分けてお伝えします。

【ねんきん定期便を見てみよう～】

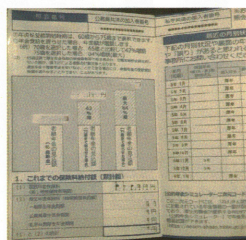
ねんきん定期便は年に1回、誕生月に郵送で送られてきます。

受け取る年齢によって仕様が変わり、節目である35歳、45歳、59歳はより詳しい情報が書かれた封書、それ以外の年齢でははがきで直近1年間の加入状況をベースとした内容が記載されています。

また、**日本年金機構ホームページ**のねんきんネット：https://www.nenkin.go.jp/n_net/ で情報を調べることもできます。



はがきを開けるとこんな感じ



はがきを開くと50歳以上の方であれば、65、70、75歳でのおおよその年金見込み額がのっています。

こちらの通信は私とご縁あった方、関わりのあった方にお送りしています。送付不要な方は、お手数ですがご連絡ください

発行人 西村真由美
発行日 2024年12月
連絡先 070-5469-9261

ただ、見込みの数字とはいえ、私がきちんと意識して見た当時は「こりゃ～75歳まで働かないとやっていけない」という、キビシイ現実には直面してしまいました（泣）

皆さんはいかがでしょう？

昨今では65、70歳というのはとても若く、体力的にも働ける年齢。

75でも「お若いなあ」という方も多いですよ。

医療の進歩もあり、これからの時代ますます元気で若い人が増えていくことが、容易に予想されます。となると、計らずしも長生きしてしまった時に**どんな生活を送っていたい**かが大切になってきます。

【もしずっと今の生活水準で暮らすとすれば】

皆さんは、具体的な生活費の金額って知っていますか？

知っている場合は、実際に貯金が積みあがっているのか、知らない場合は、最低でも生活費がいくら必要なのか、出来るだけ早く知っておく方がいいですよ。

特に女性は配偶者が亡くなった途端に年金支給額が変わり、切り詰めた生活になっていくかもしれないので要注意です。

思い通りに体が動かなくなってくる年頃に気が付いて、節約の道しかないのは避けたい！

ということで次回、老後資金の不安を解消するために必要な生活資金額の出し方をお伝えします。

今月は「教えてふーみー先生」お休みです

公式LINE



メール



今年も最後まで読んでくださり、ありがとうございました